

# ！農作業事故注意報！

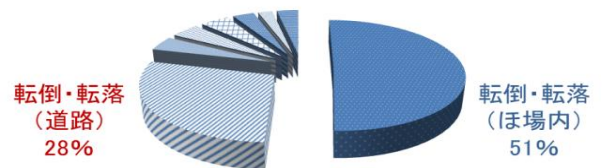
## トラクターの農作業事故 が発生しています！！



トラクターによる農作業中の事故が発生しています。  
○トラクター運転中、畑から転落し重傷(5月・菊池地域)

田植前作業が本格化し、トラクターを使用する機会が増えています。  
トラクターを使用する際は、シートベルト・ヘルメットの着用や、走行中の転倒・転落、修理・点検時の事故等に十分に注意し、作業を行いましょう。

乗用トラクターによる事故の実態



乗用トラクターの死亡原因

平成26年に発生した農作業死亡事故のうち、乗用トラクターによる死亡事故が27%を占めています。そのうち、8割近くが、ほ場や道路からの転倒・転落によるものです。(社)全国農業改良普及支援協会・農作業安全リスクカルテより

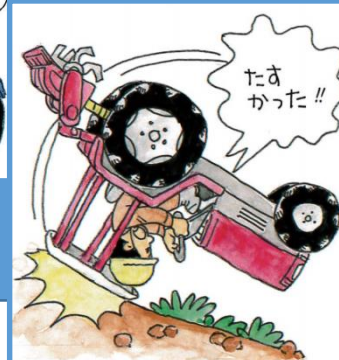
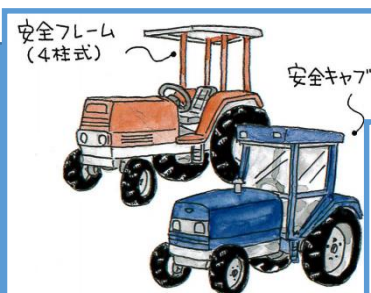
### 乗用トラクターの事故様態と安全対策

- 1 走行中の転落・転倒による事故 (33.8%)
  - 狭い道路・農道・ほ場侵入退出路
  - ⇒安全フレーム・キャビンの装着、ブレーキの連結ロック
- 2 作業機の着脱、修理点検時の事故 (21.5%)
  - 重い作業機・ユニバーサルジョイント
  - ⇒手順に沿った作業の順守、教育
- 3 トラクターの降車・乗車時の事故 (13.8%)
  - 滑りやすい乗降場所
  - ⇒乗降時の安定姿勢、滑らない履物
- 4 接触や巻き込まれによる事故 (10.8%)
  - レバー類への予期せぬ接触
  - ⇒作業に適した服装

# トラクターの安全対策のポイント

## ポイント①

- ✓ 安全キャブやフレーム付きのトラクターを使用しましょう。
- ✓ シートベルトやヘルメットを着用しましょう。

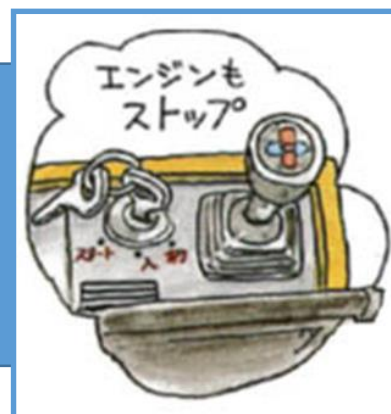


## ポイント②

- ✓ 道路は、車両に対して十分な道幅があるか、また、路肩が視認（路肩ポール等を含む）できるかを事前にチェックしましょう。
- ✓ 草が繁茂する時期は、路肩が十分わかるように管理しましょう

## ポイント③

- ✓ 機械の点検・修理時には、必ずエンジンを切りましょう。



悪い服装

良い服装



## ポイント④

- ✓ 衣服が運転席周りのレバー類に引っ掛からないよう、適切な服装を心がけましょう。また、転倒したときに最も大事な頭部を守る、ヘルメットを着用することも重要です。

【お問い合わせ】熊本県農林水産部生産経営局農業技術課

TEL 096-333-2380 FAX 096-381-8491